

平成 21 年 4 月 15 日

新宿区 長

法人名 特定非営利活動法人
全国日本語教師会

所在地 新宿区新宿 1-4-13 3F

(フリガナ) ミト セイジ

代表者氏名 水戸部 征一

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	アドバイザー育成講座と外国人区民へのアドバイス事業
実施日時又は期間	<p>1. 外国人アドバイザー育成講座 期：20年11月12・19・26・12月3・10日（5日間） 期：21年2月8・15・22・3月1・8日（5日間）</p> <p>2. 親子日本語教室 夏季：20年8月18～22日、8月25日～29日（10日間） 国際交流パーティー 20年8月30日 春季：21年3月26・27・28・30・31日（5日間） 国際交流パーティー 21年3月31日</p>
対象者の範囲及び人数	<p>1. 外国人アドバイザー育成講座 <対象者> 日本人の区民（主に新宿区民。参加希望があれば他区からの参加も可とした）外国人との国際交流やサポート活動に関心があり、ほとんどの参加者が外国滞在歴やホームステイ(受け入れも)経験者であった。 <人数> 期：13名、2期：10名</p> <p>2. 親子日本語教室 <対象者> 主に新宿区在住の外国人。小中学生とその保護者や関係者。日本に来て間もない成人。特に親子にこだわらず募集した。 <人数> 夏期：17名、春期：6名</p>

<p>事業内容</p>	<p>1. 外国人区民アドバイザー育成講座 各期とも全5日間 1回：2時間（13：00～15：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーとは？ [課題]外国人向け生活情報を集めて、期間中検証を続ける。 ・新宿区の外国人区民へのサービス（外国人ハローワークの実情。） ・観光ガイド、ホストファミリーについて（体験談） ・日本語を通じたコミュニケーション ・まとめと親子日本語教室の計画。 <p>2. 親子日本語教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季：全10日間 1回：1時間45分（10：00～11：45） ・春季：全5日間 1回：1時間45分（10：00～11：45） <p>3. 国際交流パーティー・・・日本語教室終了後に各1回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季：20年8月30日 1時間30分（14:00～15:30） ・春期：21年3月31日 1時間30分（12：30～14：00）
<p>具体的な活動状況</p>	<p>当初予定していた第1期アドバイザー育成講座を7月に行なうことが出来ず、親子日本語教室が先に行なわれた。</p> <p>1. 夏休み親子日本語教室・・・10日間開催</p> <p>【サポーター募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に教師会会員よりサポーターを募る。活動スケジュールを提示し、マッチングした日を応募。（25名応募） <p>【打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師、サポーターを含めた全体会議・・・実行体制の確認等 ・教員ミーティング・・・校長・教室長選出、教員稼働確認及びカリキュラム作成等 <p>【広報活動】・・・約1ヶ月前より広報活動を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成（日本語・英語・スペイン語） ・新宿区内の小・中学校、23区役所、教育委員会、大使館などへのチラシ発送・電話かけ作業 ・大久保周辺、当会周辺のレストラン・店、ハローワーク等へのチラシ配り、 ・区報および日本語教育新聞への掲載 ・希望受講者の状況把握（保護者への説明・レベル確認） <p>【開催期間中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者のレベルチェックとクラス分け（初日） ・教室長による授業開始前のミーティングと終了後の反省会（毎回） ・カリキュラムに沿った授業展開（「あいうえお」から） ・授業記録の提出 <p>【交流パーティー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者一品持ち寄りの交流会 ・受講生への賞状授与と受講生の日本語でのあいさつ <p>2. 外国人区民アドバイザー育成講座（期・期共通）</p> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座内容の講師との事前打ち合わせ ・レジュメ等配布資料の作成 ・ゲスト講師の調整

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座中の調査対象内容の事前調査（外国人に対するサポート内容） 【広報活動】 ・ チラシの作成・配布 ・ 区報および日本語教育新聞への掲載 【開催期間中】 ・ 1日目：アドバイザーとは？ [課題提示]：身近にある外国人に対する生活情報誌やゴミ分別等に関するに資料集めとその内容検討。 区役所に外国人に対する対応内容のヒアリング。 ・ 2日目：ハローワーク新宿の新宿外国人雇用支援・指導センター 外国人労働者専門官 戸田真司氏を招き、外国人求職希望者の実情とサポート体制について紹介。 ・ 3日目：観光ガイド・ホストファミリーについて ・ 4日目：日本語を通したコミュニケーションの一環として、初歩的な日本語の教え方を講義 ・ 5日目：アドバイザーのまとめと今後の継続活動について 「アドバイザー研究会」の設置 ：親子日本語教室の紹介とアドバイザーの役割について <p>3．春休み親子日本語教室・・・5日間開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 【サポーター募集】 ・ 教師会会員とアドバイザー育成講座受講生から募る(15名応募) 【広報活動】 ・ チラシのバージョンアップ（日本語・英語・スペイン語に中国語・韓国語版を追加） ・ 広報対象先は夏休みに順ずる。 ・ アドバイザー育成講座に参加した数名が、チラシ配り・名札作り等に参加した。 【開催期間中】 ・ 夏休みに準ずる。 ・ レベルにより2クラスに分け、初心者は「あいうえお」から。 小学生には学校の復習と次学年の先取り学習を行なった。 ・ アドバイザーの受講生が、付き添ってきた保護者の日常生活の相談役として活躍した。 <p><交流パーティ>・・・夏休みに順ずる</p>
<p>事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイザー養成講座では、外国人が新宿区で生活する際、行政の手続きの仕方、生活上のルールを理解、困った時の相談する方法と窓口を行政に確認し、又各種サービス情報を集めることによってその実態を認識することができた。全ての外国人に、言語活動でのアドバイスには限界があることから、視覚的にガイドできる万国共通の「表示マーク」の必要性を認識した。講座終了後、外国人アドバイスに関する「研究グループ」（自主活動）を立ち上げ継続的に活動することとし、第 期グループでは「アドバイザーマーク」（ワッペン）を完成させた。（「成果物」として添付） ・ アドバイザー養成講座受講生が、親子日本語教室のサポーターとし

	<p>て参加することによって、チラシ配りの際や教室開催中に、アドバイザーが申し込み希望者や申し込み者の保護者から相談を受け、それに対してきめ細かな対応をした結果、参加者の不安を取り除くことが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none">・親子日本語教室ではレベルを分ける事により受講者のニーズにあった日本語教育が出来た。<ul style="list-style-type: none">・初心者には「あいうえお」から・中級、小学生には学校で使っている教科書を使い、復習と次学年の先取り学習で自信をつけさせた。また、自学学習できるように辞書の使い方を教えた。
--	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			398,074 円
	参加費・資料代等	外国人アドバイザー講座@4500×23名 = 103,500 親子日本語教室@800×23名 = 18,400		121,900 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		500,000 円
	計			1,019,974 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	118,980 円	教室使用料@2000×(10日+5日) = 30,000(夏親子・外アドバイザー) 教室使用料@2520×16.5h = 41,580(春親子) 教室使用料@1680×16.5h = 27,720(外アドバイザー) 会議室使用料 (@2000×5回) + (@1680×1) = 11,680 資料コピー代@10×800枚 = 8000	
	宣伝費	252,500 円	新聞広告費@70000×2回 = 140,000 日本語教育新聞（小中校告知用）@750×50部 = 37,500 写真印刷代@4×15000枚 = 60,000 コピー代@10×1,500枚 = 15,000	
	リース費	0 円		
	消耗品費	12,114 円	ファイル、紙、封筒、イベント用品	
	謝礼	236,000 円	外国人アドバイザー講座講師謝礼 期：@10000×6.5h(1.5+1.5+2.0+1.5)=65,000 @7500×3h(2+1) = 22,500 期：@7500×5h(1.5+2+1.5)= 37,500 @7500×4h(2+2) = 30,000 親子教室ボランティアスタッフ謝礼 @900×3h×(20人+10人) = 81,000	
	人件費	188,100 円	親子教室教師 @1200×3h×(10人+5人) = 54,000 事務局スタッフ (外アドバイザースタッフ) A：@900×(20h+20h) = 36,000 B：@900×(10h+10h) = 18,000 (親子スタッフ) A：@900×(23h+30h) = 47,700 B：@900×(27h+9h) = 32,400	
	材料費	82,110 円	ひらがなカード@1,050×(17+6+13+10=46)部 = 48,300 日本語教育新聞@1470×(13+10=23)部 = 33,810	

	交通費	57,670 円	外庁 講師交通費：@1000×6日×2回=12,000 親子教室教師・講師交通費：17,340(8人)+14,010(8人) スタッフ交通費：A：@720×13日=9,360 B：@620×8日=4,960
	その他諸経費	72,500 円	郵送料：往復はがき@100×235=23,500 切手@80×20枚=1,600 メール便：8,300円+14,560+4,800+11,280+8460=47,400
助成対象事業費（小計）		1,019,974 円	
余 剰 金		0 円	
助成対象外事業費		円	
事 業 総 額			1,019,974 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が目標を大幅に下回った。広報活動が、特にチラシ送付先の検討、送付先の担当者がこの事業にどの程度関心があり、広めていただけたが今ひとつ解からない。 ・当初予定していた 期アドバイザー養成講座が7月に実施できなかつたため、夏休み親子日本語教室にアドバイザー受講者が参加することが出来なかつた。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子日本語教室の受講者が日本語の必要性を強く感じ引き続き日本語学校で学んでいる。 ・3年間の親子教室開催実績が行政や地域社会に認知され、当会では日本語教育の相談を受ける機会が多くなっている。今後も親子教室やアドバイザー講座を通して地域社会の日本語教育や国際交流分野の相談窓口としての役割を果たして行きたい。
新たに気づいた課題は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み・春休み以外の継続的な日本語サポートのニーズがあること。小中学生に関して学校の授業についていけない、なじめないなどの悩みを抱えている生徒が多く、教科書と問題集を使った日本語教育も必要と思われる。教育するだけでなく認知活動・広報活動をする人材育成も必要である。
理解者や支援者が広がったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・世代や職域を超えたボランティアスタッフ（サポーター）の交流が出来、会や事業の理解、今後の活動に心強いつながりが出来た。
事務局の執行体制は十分だったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室では、「校長」「教室長」を選任し教室運営の責任ポストを設けた。開催期間中のミーティングリーダーなどは行なえたが、事前準備でもう少し事務局が連絡を密に取り合い業務を段取りよく任せても良かった。 ・準備開始時期が少し遅れた ・広報活動に関して人数が不足していた。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・場所を当教師会に限定せず、各地域の学校の空き教室や公民館などを利用し、主に小中学生を対象とした地域密着型の日本語教室の開催。
その他	

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

「外国人アドバイザー研究グループ」が考案した『アドバイザー』ワッペン

日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語・インドネシア語(マレーシア語)・中国語・韓国語・フランス語イタリア語・ドイツ語などでデザイン。